

令和5年度八千代市生涯学習審議会 会議録

会 議 名 令和5年度八千代市生涯学習審議会

開催日時 令和6年3月7日（木） 午後1時55分～午後2時55分

開催会場 八千代市教育委員会庁舎 2階 大会議室

議 題 1 生涯学習に関する市民アンケート調査の結果について
2 第3期八千代市生涯学習推進計画【令和6年度版】（案）について

出席者名

出席委員	藤澤 伊佐雄	会長（学識経験者）
	佐藤 知行	副会長（市民）
	田村 俊毅	委員（市民）
	岡崎 留美子	委員（市民）
	小出 正雄	委員（関係団体の代表者）
	酌井 博美	委員（関係団体の代表者）
	種村 保	委員（関係団体の代表者）
事務局	春田 泰宏	（教育次長）
	齋田 忠徳	（生涯学習振興課長）
	岡崎 智	（生涯学習振興課公民館担当主幹）
	大野 光弘	（生涯学習振興課図書館担当主幹）
	米ノ井 正樹	（文化・スポーツ課長）
	中村 元重	（郷土博物館兼文化伝承館館長）
	衣川 英之	（生涯学習振興課副主幹）
	江尻 浩太	（生涯学習振興課主査）
	内田 颯一	（生涯学習振興課主事）

公開又は非公開の別 公開

傍聴人定員及び傍聴人数 0人／定員5人

所管課名 教育委員会生涯学習振興課

電話番号 047（481）0309

【事務局（生涯学習振興課 衣川副主幹）】

それでは、定刻前ではありますが、皆様お揃いですので始めさせていただきます。

ただいまから、令和5年度八千代市生涯学習審議会を開会いたします。

本日はお忙しい中、御出席を頂きましてありがとうございます。

司会を務めさせていただきます生涯学習振興課の衣川と申します。

恐れ入りますが、以降につきましては、着席して司会進行させていただきます。

初めに、本日使用いたします資料の確認をさせていただきます。

御手元にお配りしております資料を御覧ください。

- ・まず「会議次第」
- ・次に「席次表」
- ・続いて「八千代市生涯学習審議会委員及び事務局職員名簿」
- ・「八千代市生涯学習審議会条例」
- ・「八千代市生涯学習審議会条例施行規則」
- ・最後に、「大和田図書館大和田公民館複合施設の恒久的な施設の在り方について」

本日の配付資料は以上となりますが、委員の皆様方には事前に御持参お願いさせていただいておりました資料といたしまして、

- ・資料1、「生涯学習に関する市民アンケート調査結果報告書案」
- ・資料2、「第3期八千代市生涯学習推進計画【令和6年度版】（案）」

資料の方は以上となりますが不足等がございましたらお申し出頂ければと思います。

資料の方はよろしいでしょうか。

本日の出席委員は、7名です。八千代市生涯学習審議会条例第5条第2項の規定による定足数に達しておりますので、会議が成立いたしました。

本会議は、八千代市審議会等の会議の公開に関する要領第4条の規定により、公開とさせていただきます。

また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、御了承お願いいたします。

続きまして、皆様方の御手元にありますマイク的使用方法について御説明いたします。

本会議中におけるマイクの使用につきましては、録音の際必要となりますことから、発言をされます前に必ずボタンを押して、赤いランプがついていることを確認してから御発言くださいますようお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第の2、教育次長春田より挨拶を申し上げます。

【春田教育次長】

八千代市教育委員会社会教育部門、教育次長の春田と申します。

令和5年度八千代市生涯学習審議会の開催にあたり一言御挨拶をさせていただきます。

本日は、年度末のお忙しい中、本会に御出席を賜り誠にありがとうございます。

本日の審議会では、生涯学習に関する市民アンケートの調査結果報告と、第3期八千代市生

涯学習推進計画、令和 6 年度版案につきまして、委員の皆様から御意見等を頂き、本市の生涯学習推進を図ってまいりたいと考えております。

コロナ禍の制限もなくなり、生涯学習におきましても活動が活発化してきており、今後さらに学習機会の充実や、情報提供の拡充が求められております。

本市の生涯学習のますますの発展と推進が行えますよう、皆様からの御協力をお願い申し上げます、簡単ですが、挨拶とさせていただきます。

【事務局（生涯学習振興課 衣川副主幹）】

続きまして、次第「3 委員及び出席者紹介」となります。

本日御出席の委員の皆様と事務局の職員を紹介させていただきます。

初めに、委員の皆様を名簿順に御紹介させていただきます。

（委員紹介）

なお、種村委員におかれましては、前回の生涯学習審議会以降に関係団体の代表者になられ、新たに生涯学習審議会委員となられましたことを御報告申し上げます。

それでは、今回新たに委員になられました八千代市校長会より、八千代市立八千代中学校校長の種村委員より一言御挨拶を頂ければと思います。

【種村委員】

ただ今、御紹介にあずかりました八千代中学校の校長をしております種村と申します。よろしく申し上げます。

校長会代表というような肩書で、ただ今御紹介がありましたけれども、私はこの 4 月に校長になったばかりですので、代表としての意見をいろいろ発言できるか分かりませんが、精いっぱい、任期を勤めさせていただきたいと思います。

私は昨年度まで、阿蘇米本学園というところで 3 年間勤務しておりました。

阿蘇中学校の閉校、そして阿蘇米本学園の開校、両方にまたがって勤務してきたということで、そういった経験で、お役に立てることがあれば、ぜひお力になりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

以上です。

【事務局（生涯学習振興課 衣川副主幹）】

ありがとうございました。

なお、金子委員と小野尾委員におかれましては、所用のため、本日は欠席との御連絡を頂いております。

続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。

（事務局紹介）

続きまして、次第「4 議事」に移らせていただきます。

議事の進行につきましては、八千代市生涯学習審議会条例第 5 条の規定により、会長が会議の議長を務めることになっておりますので、藤澤会長よりお願いいたします。

【藤澤会長】

改めまして、藤澤と申します。

皆様に御協力を頂きながら、審議会を無事に進行してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以降、座ったまま進行させていただきます。

それでは次第の「4 議事」に入りたいと思います。

初めに議題の 1,「生涯学習に関する市民アンケート調査の結果について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局（生涯学習振興課 江尻主査）】

私のほうから議題 1,「生涯学習に関する市民アンケート調査の結果」について御説明をさせていただきます。

説明に入る前に、本アンケートの実施に際し、委員の皆様におかれましては設問の確認や御意見等頂くなど、御協力を頂き、ありがとうございました。

それでは着座にて説明させていただきます。

本日皆様に御持参をお願いしました資料 1,「生涯学習に関する市民アンケート結果報告書(案)」を御覧ください。

この報告書は今回実施したアンケートの集計をし、取りまとめたものとなっており、この後ホームページにおいて公表を予定しております。

まず、1 ページ目を御覧ください。

今回お配りした 1 ページ目に訂正がございましてそちらのほうを先に説明させていただきます項目の[6]番となって回収状況となっておりますが、こちら正しくは [6]ではなく [5]になりますので、訂正させていただきます。

それでは、説明のほうに入ります。

「1 調査の概要」について説明いたします。このアンケートの調査の目的につきましては、現行の計画である第 3 期生涯学習推進計画の計画期間において来年度が最終年度となり、次期計画の策定を進めるために、本市の現状や市民のニーズを把握することを目的としております。

次に「2 調査期間」につきましては、令和 5 年 12 月 8 日から 12 月 28 日まで行いました。

次に「3 調査対象」につきましては、18 歳以上の市民から無作為に抽出しました 1,500 人となっております。

次に「4 調査方法」につきましては、18 歳以上の市民から抽出した 1,500 人に対し調査票を送付し、回答方法は紙の調査票の返送またはインターネットでの回答としました。

今回この方法で実施するのは初めてとなりまして、これまで行っていたアンケートは、総合

生涯学習プラザや公民館・図書館のほか、生涯学習関係施設等にアンケート用紙を配架し、回収箱を設置して回収・集計する方法で行ってまいりました。

こちらの方法につきましては、対象者が生涯学習施設等を利用している方ですので、比較的生涯学習に興味の高い人の意見が多くなりました。

今回の調査にから、市民全体の考えや意見を取り入れるため、調査方法を変更し実施いたしました。

次に、「5 回収状況」につきましては、1,500 通配布しまして、回収は 504 件となっております。回収率は 33.6%となりました。

回答方法の内訳としましては、郵送での回答が 68%、インターネットの回答が 32%となりました。

次に 2 ページ、3 ページを御覧ください。ここからは、「2 調査結果」になります。

「1 基本情報」 問 1～問 4 は回答者の属性に関する設問となっております。

集計結果は、性別では女性がやや多く、年齢は 40 歳代、50 歳代が多く、そのあと 60 歳代 70 歳代が続きました。

地域は大和田地区が最も多く、高津・緑が丘地区、八千代台地区と続き、市の実際の人口分布と近い結果となりました。

職業につきましては、会社員・公務員が最も多く、専業主婦、無職と続きました。

次に 4 ページを御覧ください。「2 生涯学習活動について」、問 5～問 11 までは、生涯学習活動に関する設問となっております。各設問に対し、回答の分布を示す棒グラフとその下に年代別の回答の割合を示した表を記載しております。年代別の表につきましては、縦軸の各選択肢に対し、各年代の回答の割合、パーセントを記載しております。色が濃くなっているパーセントがその年代の最も多い回答となっております。

まず、問 5 の「あなたはどのような生涯学習活動を行っていますか」の設問については『特に行っていない』が最も多い回答となってしまいました。

それに続く回答としましては、『趣味教養に関する学習』、『健康づくりやスポーツに関する学習』となっており、その次に『仕事上必要な知識、技能に関する学習』となっております。

年齢別に見ますと、40 歳代以上の年代が『特に行っていない』が最も多い回答となっておりまして、30 歳代以下は『仕事上必要な知識や技能』が最も多く、『趣味や教養』や『健康づくりスポーツ』などについては、どの年代も高い割合が回答しておりました。

次に、5 ページの問 6「あなたが生涯学習活動を行っているのはどのような理由からですか」については、『健康・体力づくりのため』が最も多く、次に、『趣味を豊かにするため』が多く、以下、『仕事や就職等に役立つため』、『人生を有意義にするため』、『自由時間を有効にするため』の順となりました。

次の 6 ページの年代別の表を見ますと、仕事や就職に回答している割合は、40 歳代以下が多く、50 歳代、70 歳代以上で『健康・体力づくりのため』が多くなっています。

『趣味を豊かにするため』は、どの年代においても高い水準となっております。

生涯学習を行う理由は必ずしも同じではなく、それぞれライフスタイルに合わせて異なる理

由で活動を行っていることが、その結果から読み取れます。

次に、問 7「あなたはどのような場所や形態で生涯学習を行っていますか」の問いについては、『パソコン、タブレット等によるインターネットを活用した学習』が最も多く、『書籍による自宅学習』が続き、以下、『同好者が自主的に行うサークル活動』、『民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどの講座や教室、通信教育』となっております。

年代別に見ますと、『パソコン・タブレット・スマートフォン等によるインターネットを活用した学習』は、60 歳代以下で最も多い割合となっており、70 歳代以上では『サークル活動』が最も多い回答となりました。70 歳代については、『民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどの講座や教室、通信教育』においても多い結果となりました。また、『書籍による学習』はどの年代でも多く行われています。

次に 8 ページを御覧ください。問 8「あなたは生涯学習を通じて身につけた知識や技能をどのように生かしていますか」という設問につきましては、『自分の健康維持・増進』が最も多く、『家庭、日常生活』、『仕事や就職』と続いて、この三つの回答が多くを占めております。

年代別については、若い年代では、『仕事や就職』が多く占め、年代が高くなると、『自分の健康維持増進』が多くなっています。『家庭日常生活』はどの年代でも多い割合となっています。

次に 9 ページ、問 9「あなたは生涯学習に関する情報をどのように得ていますか」の設問についてですが、『インターネット、SNS』が最も多く、次に、『広報やちよ』と『新聞、雑誌、書籍』が同数で、『家族、友人、知人』が続いています。『特に得ていない』とも多い結果となりました。

年代別では、『インターネット、SNS』が 60 歳代以下で最も多く、その中でも、若い世代ほど多くなっております。70 歳代以上は特に『広報やちよ』が多くなっています。また、『テレビやラジオ』、『新聞、雑誌、書籍』『家族、友人、知人』などの回答については、各年代の割合は大きな差はありませんでした。また、『特に得ていない』は 50 歳代以下で多くを占めておりました。

次に 10 ページ、問 10「あなたは生涯学習に関してどのような情報が知りたいですか」につきましては、『公民館・図書館などで開催される講座の情報』が最も多かったのです。また、『特になし』が 2 番目に多い結果となりました。

年代別を見ますと、『資格取得に関する情報』には、18 歳から 29 歳の回答が多く、50 歳代までも比較的多くなっております。

50 歳代以上は『公民館・図書館などで開催される講座の情報』が多く、『サークルや同好会の活動の情報』も多くなっております。

次に 11 ページの問 11「あなたが関心のある学習テーマでは何ですか」という設問につきましては、『趣味、教養に関すること・健康づくりスポーツに関すること』が多くなっており、『家庭生活』、次に『仕事上の必要な知識』と続いております。

次に 12 ページの年代別を見ますと、回答数の多い『趣味教養』、『健康づくり・スポーツ』については、どの年代においても高い割合でした。

また、50 歳代以下においては、『仕事上必要な知識、技能に関すること』の割合が多くなり、

『子育て教養に関すること』が子育て世代である 30 代で最も多く回答され、世代間の特色があらわれる結果となりました。

次に、13 ページを御覧ください。

「3, 本市における生涯学習の取組についての設問となっています。

問 12 の「市主催の生涯学習に関する講座やイベントなどを知っていますか。また、参加したことはありますか。」という設問に対して、最も多かったのは『知らない』という回答でした。

年代別に見ますと、若い世代ほど『知らない』の回答が多くなっております。『知っていて参加している』と『知っているが参加したことはない』を合わせて 5 割を超えるのは、70 歳代以上となりました。この結果により、今後、若い世代へ講座やイベントの認知度を上げていくことが課題であることが分かりました。

14 ページを御覧ください。

問 13 の「市民の生涯学習活動が充実するために八千代市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか」という問いについてですが、『身近なところでの学習機会の提供』が最も多く、次に、『公民館・図書館などの学習施設の充実』、『生涯学習に関する情報提供の充実』が続き、以下、『市民会館・文化センターなどの文化施設の充実』、『講座、講演会などの種類の増加、内容の充実』、『市民体育館・グラウンドなどのスポーツ施設の充実』の順となっております。

このことから、学習施設や文化スポーツ施設の充実や講座の数の増加や内容の充実が望まれていることが読み取れました。また、『生涯学習に関する情報提供の充実』も多かったことから、情報の周知方法についても検討が必要であると考えます。

年代別につきましては、『身近なところでの学習機会の提供』と『公民館・図書館などの学習施設の充実』は、どの世代も多く、年代間での違いは多く見られませんでした。『オンラインによる講座の充実』の回答が 18 歳から 29 歳の世代ではほかのグラフ、ほかの世代に比べて割合が高かったのが特徴的でした。

次の 16 ページ以降につきましては、「4 自由記述意見」になりまして、こちらについては問 13 及び 14 に寄せられました自由意見について、その回答の内容からテーマごとに分類させていただきまして掲載しているものでございます。

回答内容については、記載のとおりとなっております。今回は説明を割愛させていただきます。

以上で資料 1 についての説明となりますが、委員の皆様におかれましては、このアンケート結果についての感想や、この結果を踏まえた今後の八千代市の生涯学習についての御提案など、幅広い御意見を頂けたらと思います。

説明は以上となります。

【藤澤会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御質問、御意見等はございますか。質問のある委員は挙手をお願いいたします。

田村委員お願いします。

【田村委員】

アンケート調査を拝見して内容は良かったかと思います。

生涯学習をしている人ばかりでなくて無作為に抽出した市民に発送したのだけれども、大体 3 分の 1 が返信してくれたということは、私の経験からいうと、普通はこんなには返ってこないもので、そういう意味では生涯教育に対する市民の皆さんの関心は、結構あるのではないかと思います。

市民の状況だとか要望だとか、具体的にいろいろ出ておりますので、これも今後、非常に参考になるかと、そういう意味で結果を分かりやすくよくまとめてあるかと思います。

問題は次のステップで、大切なのは、アンケート調査の内容を分析して、市の生涯教育施策に、どう生かしていくかということにかかってくると思っております。

私の意見というよりも感想です。

よろしくお願いします。

【藤澤会長】

ありがとうございました。

他はいかがでしょうか。

【藤澤会長】

先程、田村委員のほうから、次のステップをというお話がありました。

ライフスタイルに合わせてというのが市民の要望として多い、と考えたときに、地域差と年齢差というものを考慮していく必要があると思います。

例えば、阿蘇・米本地区は子供たちが減っています。学校が 3 校統合して当然、年代的には、高齢の方が多くて、30 代 40 代が減っている。

ところが、アンケートの結果を見ると、30 代 40 代までの年代とそのあとの年代では求めているものが違っているという状況があります。

例えば緑が丘地区であれば、緑が丘小が新設分離校ということで、児童数が大きく増えており当然、30 代 40 代の年齢層が多い。

ということで、30 代 40 代の年齢層が多い緑が丘地区と高齢化が進んでいる阿蘇・米本地区の住民のライフスタイルと求める講座、今後求められる内容は当然違ってくると思うのです。

そこまでの細かな地域別の人口分布は持っていませんけれども、先ほど田村委員がおっしゃったことを、次のステップを考える上で参考にしていくと、身近なところで学びたい、という市民の意見が多いということを考えて、身近なところがライフスタイルや年齢層に合ったものだ、さらに充実していくかと思っております。来年度以降、その辺りもまた踏まえていただけるといいかと思います。

他に皆さんから御意見いかがでしょうか。

では、御意見は無いようですので、議題 1、「生涯学習に関する市民アンケート調査の結果に

ついて」は終了いたします。

それでは次の議題に入りたいと思います。

議題の 2,「第 3 期八千代市生涯学習推進計画【令和 6 年度版】(案)」について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局（生涯学習振興課 内田主事）】

はい、私のほうから議題 2,「第 3 期八千代市生涯学習推進計画【令和 6 年度版】(案)」について御説明をさせていただきます。

本日、皆様にご持参をお願いしました資料の「第 3 期八千代市生涯学習推進計画【令和 6 年度版】(案)」を御覧ください。

初めに、令和 6 年度版作成の趣旨について御説明いたします。

それでは 1 ページ目を御覧ください。

ページ上段に作成の趣旨が記載されておまして、『令和 3 年 3 月に策定した第 3 期八千代市生涯学習推進計画では、PDCA サイクルの視点に立ち、必要に応じて計画を見直し改定を行うなど、進行管理に努め、社会環境の変化や計画における具体的な取組の進捗状況等に応じて変更追加等を行う』としております。

こちらは第 3 期推進計画の策定に当たり、八千代市生涯学習審議会に諮問した際、具体的な取組や目標値などを示した来年度版の計画書の作成について答申を頂きましたことから、今回は令和 6 年度版として作成したものであります。令和 6 年度版の主な内容につきましては、各部署が行う具体的な取組について、令和 5 年度の実施状況、それに伴う評価及び令和 6 年度の実施状況を記載していたものとなっております。

続きまして、2 ページ目から 3 ページ目を御覧ください。

こちらが本市の生涯学習施策を総合的、効率的に推進するため、位置づけた具体的な取組項目の一覧となっております。現在 45 項目 51 件ございます。

続きまして、4 ページ目を御覧ください。

ここから具体的な取組項目の詳細について記載をしております。

今回記載をしております内容につきましては、本年 1 月に推進部署各担当課に対して、昨年の 12 月末現在の状況及び 1 月から 3 月にかけて予定している取組について調査を行った結果となっております。

表の見方は、1 段目に「整理番号」、「取組の名称」、2 段目に「推進部署」、「関係課」、「指標の有無」、3 段目に「具体的な取組の概要」、こちらは第 3 期の推進計画内において定めている内容を記載しております。

続きまして、令和 5 年度実施内容、その次に、実施内容に対する評価としまして、こちらは 3 段階の評価を設けており、一つ目が「計画どおり実施した」、二つ目が「計画の一部を実施した」、最後に「実施できなかった」の 3 段階評価としております。併せて、その評価をした理由の記載もしております。

次に、「令和 6 年度の取組内容(予定)」、その次に、「指標としている項目」、その右横が指標項目の「令和 5 年度末目標値」、1 番下の段に、「令和元年度から令和 5 年度末までの各年

度の実績値及び令和 6 年度の目標値」を記載しております。

なお、「令和 5 年度実施内容」，「令和 6 年度の取組内容(予定)」，「令和 5 年度末の実績値」につきましては，先ほども申し上げましたとおり，本年 1 月に各担当部署への調査を行った結果となりますので，最終的な実施結果で変更となる場合がございます。個別の具体的な取組内容につきましては，記載のとおりとなっております。今回は，各取組の実施状況等の説明につきましては，割愛させていただきます。

続きまして，令和 5 年度の実施状況としまして，35 ページから 37 ページにかけて集約した資料を掲載しておりますので，35 ページ目を御覧ください。

集約結果になりますが，具体的な取組，45 項目 51 件のうち，「計画どおり実施した」が 32 件，「計画の一部を実施した」が 19 件，「実施できなかった」は 0 件となっております。

続きまして，次の 36 ページ目，表の下のところを御覧ください。こちらに前年度，令和 4 年度との比較につきまして掲載をしております。

「計画どおり実施した」は，昨年の 23 件から 32 件に増えておりまして，「計画の一部を実施した」は 27 件から 19 件に，「実施できなかった」は 1 件から 0 件に減少しております。これにつきましては，令和 5 年度に入り，昨年 5 月に新型コロナウイルスが第 5 類に引き下げられたことにより制限が解除されまして，講座やイベントが対面でできるようになったことにより，「計画どおり実施した」が増えた要因であると考えております。

続きまして，指標に関する結果となりますが，36 ページ目から 37 ページ目にかけて集約を掲載しております。

それでは，36 ページの下段を御覧ください。

指標の設定している項目が 30 項目 33 件ございまして，「計画最終年度の令和 6 年度末の目標値を達成した」が 3 件，「令和 5 年度末の目標値を達成した」が 3 件，「令和 5 年度末の目標値は達成できなかったが，前年度の実績値を上回った」が 13 件，「令和 4 年度末の目標値を達成できず，前年度の実績値も下回った。または同様であった」が，14 件でございました。

指標につきましても，令和 4 年度との比較を 37 ページ目の下の表の下段の下に掲載しておりまして，「令和 6 年度末の目標値を達成した」が，2 件から 3 件に上昇し，「当年度の目標を達成した」のは 5 件から 3 件に減少し，「前年度の実績値を上回った」が，12 件から 13 件に，「前年度の実績値を下回った，または同様であった」が，13 件から 14 件に上昇となりました。

指標の達成状況に対する評価でございますが，計画最終年度の令和 6 年度末の目標値の達成が増加した一方，当年度の目標値を達成したが減少し，コロナの制限解除により，以前より計画どおり実施できている中で指標が及んでいない状況であると考えております。

説明は以上となりますが，この計画書案は，12 月末現在での調査結果をまとめたものとなっておりますので，本年 4 月に改めて各推進部署へ調査を行い，その結果を反映させ，5 月頃に完成させることとしております。

その上で，ホームページ上で公表する予定です。

議題 2，「第 3 期八千代市生涯学習推進計画【令和 6 年度版】(案)」の説明をこれで終わります。

【藤澤会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御質問、御意見等はございませんか。

【酌井委員】

3点程あります。1番目はふれあい教室について1-1-③、2-3-①、2-4-②です。このふれあい教室は、ボランティア団体とここに書かれています。実は私自身、緑が丘長寿会のメンバーで、本年度、私自身が6回程、緑が丘の方でふれあい教室に参加しております。

緑が丘長寿会ではそのような活動もしておりますが、私も高齢者に一応入るのですが、小さいお子さんたちを相手に昔遊びをすると、精神的にも肉体的にも健康に非常にいいわけです。

だから、このような活動はどんどん促進してほしい。

特に八長連という、八千代市長寿会連合会がありますので、八千代市全体でされているかどうか私は分かりませんが、八長連との協定でもいいですから、長寿というか、対策というか、そういう一環として、取り上げていただければありがたいと私は思っております。

2番目として、1-1-⑥「公民館主催事業の充実」というところに、たまたま、目についたのは実施内容に対する評価というところです。

各公民館の事業に基づき云々で、一部の講座において募集定員割れのための講座が生じたと書いてあります。

私は実際に、緑が丘公民館もそうですし、高津公民館もサークル会の会長をやったことあるので、経験から申しますと、やっぱり広報活動が結構大変なのですね。

広報やちよに載せるのはよく分かるのですが、それ以外にも地域ごとに自治会をもうちょっと利用すべきじゃないか。ほとんど自治会は回覧をやっているはずですが。やっていないところは例外的にあるにしても、そういうところでぜひ広めていただければありがたい。

3番目としましては1-1-⑮、これは防災訓練、危機管理課さんが中心だと思います。

たまたま新木戸小学校の避難所運営委員会やっております。やはり、私の経験からいくと単に自主防災組織だけではなくて、ぜひ、総合的な観点で、自治会も巻き込んだ、そういったところをお考え頂ければありがたいと思います。

【事務局（生涯学習振興課 齋田課長）】

今の御質問の一つ目のふれあい教室についてお答えしたいと思います。

ふれあい教室はコロナ前までは、令和元年実績ですと年間開催が117件で、参加人数も6,237人とかなり多かったものですが、令和2年3年と参加人数も6,000人から500人ぐらい減っています。

令和5年度の実績ですと、令和元年の117回に比べて46回ということと、人数も3分の1の1,997人となっておりますので、コロナも収まってきていますので、今委員のおっしゃったように地域の長寿会や高齢者のお力を借りながら、コロナ前の数字に戻すような形で対応してまいりたいと考えております。

【藤澤会長】

酌井委員の質問に対してほかに関連して事務局いいですか。

【事務局（生涯学習振興課 岡崎公民館担当主幹）】

公民館の岡崎です。

広報の関係ですけれども、自治会の方法、常時それを利用しているということは、現在ございません。広報を使ってというのがメインになっています。

ただ、新聞を取る人が大分減ってしまったので、広報自体があまりこう見る機会が減ってきているので、情報メールとか、場合によっては、ちいき新聞、ホームページ、多様な方法で今広報をやっているのですけれども、自治会っていうのは確かに、メインにはなくなって前回たまたま応募者が少ない講座では、自治会に頼って広報をして、その結果、参加者が集まったという講座もございましたので、そこはやっぱり考えていこうと思います。

【藤澤会長】

事務局お願いします。

【事務局（生涯学習振興課 江尻主査）】

自主防災訓練の内容について、危機管理課がやはり中心となっておりますので、自治会をもっと巻き込んでというお話であったと思いますので、そういったことを危機管理課の方にお伝えしたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

【藤澤会長】

今、酌井委員から、ふれあい教室について発言がありました。

小学校の場合、1年生2年生で生活科という授業があります。その生活科の授業の中で、昔遊びを地域の方々との交流でやっていくという活動を、私の学校現場での経験からいくとほとんどの学校が持っていましたし、来ていただいて本当に私は助かりました。それが、地域に帰ったときの挨拶とか、いろんな活動につながっていくと思いますので、先ほど、件数を重視するということなので、今後ともそれを進めていただきたいと思います。

それと、以前、違う場で防災の話をしまして、今日も話す場が違うと思っておりましたけれども、防災の話題が出たのでお話しします。今回能登で大きな地震がありましたけれども、避難所となるのはどうしても学校体育館なのです。今、学校が働き方改革ということで、閉庁日、職員がいない日を増やしています。学校の教員というのは、必ずしも八千代の学校のそばに住んでいるわけではありません。しかしながら、発災時・緊急時に学校体育館を開錠するということが必要になってきます。その対策として市のほうが、八千代市から職員をそれぞれの学校に配置していたはずなのですが、私の浦安の経験でいくと、浦安では、緊急時、委任された方が学校のこの部分のガラス窓を割って開けて入って鍵を取り出してもいいという協定がきちんと結ばれていて、そのための打ち合せとか訓練を学校と地域の方がやっているのです。

ですから、職員不在であっても、学校がすぐ使えるという体制ができています。

ぜひ八千代市もそういった部分を進めていただいて、本当に緊急時に、避難場所として学校という場所が使えるように、仮に学校職員が不在でも使えるようなシステムを早くつくっていただけることを提案します。

これは今日の場の話ではないと重々承知ですが、先ほど 1-1-⑮の話も、1-1-⑥の話とか防災の話題が出ましたので、お話しさせていただきました。

他はいかがでしょうか。

田村委員お願いします。

【田村委員】

先ほどアンケート結果を計画に反映していくという話をしたのですけれども、その関係で、3-6-②「生涯学習情報提供システムの充実」について、どちらかというと要望です。

アンケートの問 12 に関係してくるのですけれども、問 12 では、『知っている』か『知らない』、『参加したことがある』か『ない』、これを聞いたと思うのです。

先ほど御説明があったように、『知らない』人というのが、これについて数字の記載はないのですけれども、全体の6割ぐらいはある。

そういう意味からすると、知っている人、つまり生涯教育を理解している人をどのように増やしていくかというのがある意味生涯教育の1番基本で、これが参加につながる要因になり得ると思うのです。

そういう意味では、生涯学習情報システムの充実をさせるために、やちよ情報メールや市ホームページ、広報やちよ等活用し、生涯学習情報の発信に努めるとともに、と目的のための手段が書いてあるのですけれども、従来と表現がそう変わらないかなと思います。問題はここをいかにこの効果ある施策を打っていくかということだと思うのです。

また、アンケートを見ると、生涯学習の情報を得ている媒体は、広報やちよ、インターネット、SNS、若い人は SNS インターネットです。この辺りも踏まえて、どう対策をしていくのが大切であると思っております。

もし、そういうイメージがあるのであれば教えていただきたいし、これから検討されるならそれも含めて検討していただければよいと思います。

こちらで論議したときに、例えばホームページは少しタグを付けたりいろいろ試した方がいいのではないかと、いろいろ意見もこの中でも出ていたと思います。試行錯誤をして実効ある中身を検討しそれを踏まえて、知らないという人をいかに減らしていくかというところにつながっていけばいいと思います。

それから、3-6-③で、生涯学習窓口の充実ということで、生涯学習プラザ、公民館で窓口設置するということについて、一つの案ですが、これから述べさせていただきます。

いかに宣伝して効果を上げていくかというところに注力し、受動的な相談窓口よりも、例えば市のお祭りや商業施設に行って、相談窓口を開催するとか、そういう先のことも合わせて少し抜本的ないろいろ施策が求められるのかと思います。

【藤澤会長】

はい，事務局お願いします。

【事務局（生涯学習振興課 齋田課長）】

ありがとうございました。

やはり問 12 を見ると 50 歳，60 歳以上など，大分知っている人も入ってくると思うのですが，若い方ですと生涯学習に興味がある，ない人も含めて参加をしてないという数字もありますし，今委員がおっしゃったように，広報とかホームページで今までやっても代わり映えないことは事実であります。

3-6-③も含めてですけども，もう少し違う形でアプローチをしていかないと，この数字は増えていかないと考えております。

また，やはり 60 歳以上の方で，かなり生涯学習に興味ある部分ありますので，その辺をまず取りあえず開拓しながらやり方を含めながら聞き対応して，次のアンケートでこの数字が上昇するような形で対応してまいりたいと考えております。

ありがとうございました。

【藤澤会長】

ほかに御意見，御質問いかがでしょうか。

では，議題 2，「第 3 期八千代市生涯学習推進計画【令和 6 年度版】（案）」について，終了いたします。

次第 4，「議事」につきましては，これで終了となります。

続いて，次第の 5，「その他」に移ります。事務局から報告事項等をお願いいたします。

齋田課長お願いします。

【事務局（生涯学習振興課 齋田課長）】

お手元の資料を御説明させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

今御手元の資料の 4 ページを見ていただくと，現状の大和田公民館と，図書館，公民館は仮設の複合施設ということで，令和元年 10 月から稼働しております。これについて，仮設ということで，今後恒久的に数十年近くそのまま使っていきたいということをこれから御説明しますので，最後，皆さんのほうから御意見を頂戴したいと思います。座って説明させていただきます。

1 ページ目から，御説明します。

まず「大和田図書館・大和田公民館複合施設の恒久的な施設の在り方について」，この写真，2 枚ございますが，左側が旧大和田図書館，右側が旧大和田公民館です。旧大和田図書館は昭和 36 年度に大和田中学校校舎として，今の大和田図書館複合施設があるところにありました。右側の旧大和田公民館は，昭和 51 年に建設されまして，場所はもう少し市役所に近いところにありました。両方とも，施設の老朽化が著しく進みまして，旧大和田公民館に至っては，耐震性の不足が明らかになると，利用者の安全確保が危ぶまれる状態となっておりました。これは平成 30 年当時でございます。

次に2ページ目をお願いします。

そこで大和田図書館と大和田公民館を複合化するという方針を策定いたしました。両施設は、地域における唯一の図書館、公民館として、地域の学習を通じた交流の拠点等として、多くの方に認識、活用されており、アンケート結果からも存続を希望する声が多かったことから、地域ニーズ及び各地域コミュニティにおいて提供している図書サービス等の近郊の位置との視点からも、両施設の複合化や利用者の安全対策を講じることを目指す対応方針を平成30年に決定いたしました。

3ページをお願いします。

当時ですけれども、大和田図書館と大和田公民館を複合化して、今皆さんがいらっしゃる教育委員会へという考えがありました。当時は、八千代市役所新庁舎整備の検討が進行中であり、教育委員会が新庁舎へ移転することも想定されました。教育委員会が新庁舎へ移転した後に、エレベーターや障害者用トイレ施設が設置されており、駐車場も整備され、旧大和田図書館、旧大和田公民館の所在地のほぼ中間点に位置し、耐震性能が確保されている教育委員会庁舎に、調理講習室等の整備等必要な措置を施し、大和田図書館、大和田公民館の移設を図るものいたしました。

続きまして4ページをお願いします。

仮設の大和田図書館と大和田公民館複合施設の建設になります。

最終的には教育委員会へ、図書館、公民館を移設することとしておりましたが、八千代市役所新庁舎へ移設するまで、相当な期間が発生しますことから、利用者の安全確保を図るために、暫定的かつ早期に対応可能な整備方法について検討を行いました。その結果、図書館、公民館の両機能を移転できる公共施設や民間施設が見当たらなかったことから、旧大和田図書館として共用する市有地に、費用の平準化や新庁舎整備の工程に合わせた柔軟な対応が可能となる仮設施設をリース方式で整備し、令和元年10月に現在の大和田図書館、大和田公民館の複合施設の供用を開始いたしました。

5ページ目をお願いします。

「八千代市庁舎整備基本計画」が改定され、新庁舎への教育委員会の移転が見送られ、大和田図書館、大和田公民館を教育委員会へ移設することができなくなったことから、現在の仮設大和田図書館、大和田公民館複合施設の活用方法や恒久対策について、利用者や地域の皆様の御意見をアンケート等でお聞きした結果や、現在供用されている施設の耐用年数が長期間であること、市の財政状況等の様々な状況を踏まえた場合、仮設ではなく、本設として運用することが最も効果的な手法であると考えております。

今後、最適な公共施設の再配置等を検討する。「八千代市公共施設再配置等推進委員会」に、この考えを諮り、最終的な方針について決定してまいりたいと考えております。

皆様の意見をよろしくお願いします。

【藤澤会長】

ただいま事務局からの説明について、御質問ございましたらお願いいたします。

【佐藤委員】

今御説明頂きましたけれども、図書館であるとか公民館というのは、まさしく生涯学習の拠点でありますので、これは維持する、増やすことのほうがいいわけですが、財政的な問題もいろいろあるでしょうから、これ以上を望むことができれば、最低限、そういうものを維持する、そして内容を拡充していく、これは必要かと思うのです。

本庁舎が今、建て替えるという段階に来ていまして、そういう中で、この1番最後のページなのですが、「新庁舎へのこの教育委員会の移転が見送られた」という、この一文が非常に気になるのです。何か背景というものがあるのであれば、分かる範囲で、それから説明が可能な範囲で結構ですので、教えていただければ幸いです。

【事務局（生涯学習振興課 齋田課長）】

1番最初の設計では、教育委員会も入るような形で進めていたのですが、その後、コロナ等、いろいろな状況から、費用も含めて新庁舎の整備の規模が当初よりかなり小さくなったということで、教育委員会がこのままということになった次第であります。

【佐藤委員】

分庁スタイルというのはやはり維持費がかかるのではないかと一般的に私は思うのです。

ですから、本庁舎ができればフロアを足すとか上にアップする中で、幾らでもそういうきっかけをというか、スペースというのは設けられるのではないかと素人考えでおりますけれども、こう思うのです。その辺りはどのように考えてこういう経緯になっているのか、少しお話し頂ければと思います。

お願いします。

【事務局（生涯学習振興課 齋田課長）】

新庁舎整備の部分につきましては専門の担当部署もございますので、私の知る限りではやはり委員がおっしゃったように、お金とかいろいろなものは対応すればできることは分かっておりますけれども、細かい事情については、私のほうで今お答えできません。

最初に入る予定がありましたものがないということで、状況が変わったと考えております。

【藤澤会長】

市役所の建て替え問題はいろいろな課題があってなかなか進みにくい状況ではありますけれども、今の佐藤委員からの意見等も踏まえていただいて、特に教育委員会の移設については、また何らかの形で御回答頂き、関係部署から頂けるといいと思います。

他にどうでしょうか。

ではこの件についてはここまでといたします。

事務局、他にございますか。

【事務局（生涯学習振興課 江尻主査）】

事務局より連絡事項が2点ございます。

まず、今後の生涯学習審議会の予定でございます。

先ほども御説明させていただいたとおり、来年度は、地域生涯学習推進計画、第4期生涯学習推進計画を策定いたしまして、年度の後半、秋以降に計画案を審議会に諮る予定となっておりますが、現委員の皆様の任期につきましては9月末までとなっております、来年度は次の任期の委員の会議となることが見込まれます。

ですから、今回は現任期の委員の皆様の最後の会議となる見込みとなっております。委員の皆様におかれましては、これまで多大なる御協力を頂き感謝申し上げます。

ありがとうございました。

なお、次期計画策定に当たり、任期中に会議は行いませんが、委員の皆様に文書等で御意見を伺うこともあるかと思しますので、その際は御協力をお願いします。

2点目になります。

事務連絡となりまして、委員報酬の振込先として振込先を変更される方がいらっしゃいましたら書類の提出が必要となりますので、会議が終わりましたら事務局の職員までお声かけ頂ければと思います。

連絡事項は以上となります。

【藤澤会長】

次第5、「その他」が終了いたしました。

これをもちまして、次第の内容について、全て終了しました。

議事の進行に御協力頂き、ありがとうございました。

それでは、進行を事務局へお返しします。

【事務局（生涯学習振興課 衣川副主幹）】

藤澤会長ありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度八千代市生涯学習審議会を閉会いたします。

長時間にわたりましての御審議ありがとうございました。